

2023年度 決算説明会

2024年2月15日
サントリー食品インターナショナル株式会社

2023年度 振り返り 新中期経営計画 2024年度 業績予想

代表取締役社長 小野真紀子

2023年度 振り返り

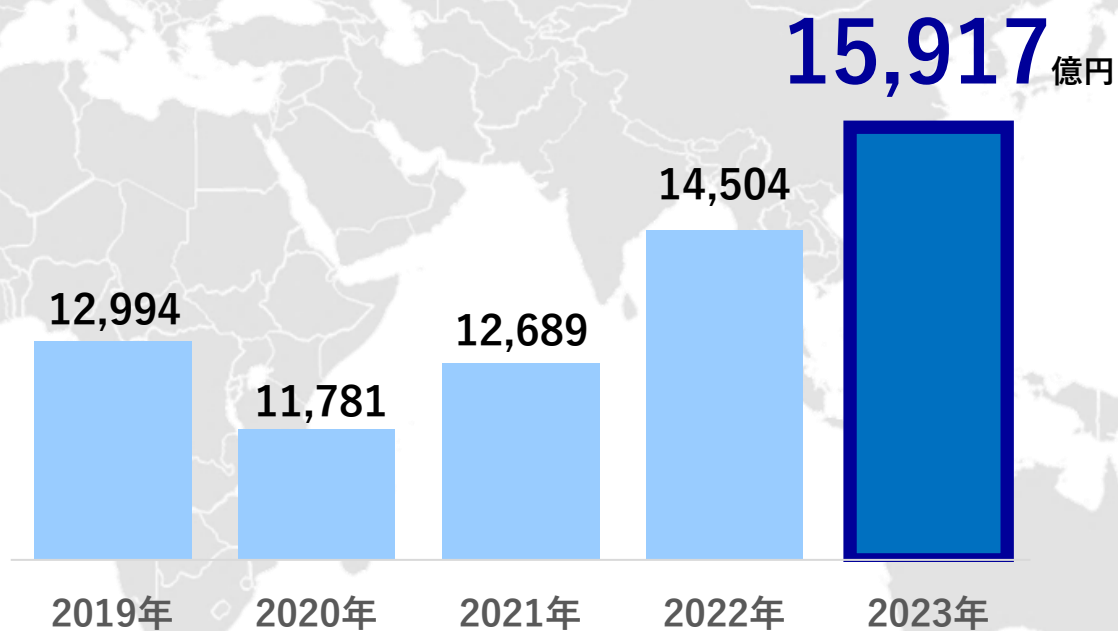
2023年度業績ハイライト(IFRS)

	2023年 実績 (億円)	対前年				修正 業績予想 との差異 (億円)
		為替込		為替中立		
		増減(億円)	増減率	増減(億円)	増減率	
売上収益	15,917	+1,413	+9.7%	+858	+5.7%	△83
営業利益	1,417	+20	+1.5%	△53	△3.6%	+17
非経常項目	△28	△117	—	△114	—	△8
既存事業ベース* 営業利益	1,445	+137	+10.5%	+61	+4.4%	+25
親会社の所有者に 帰属する当期利益	827	+4	+0.5%	△35	△4.0%	+52

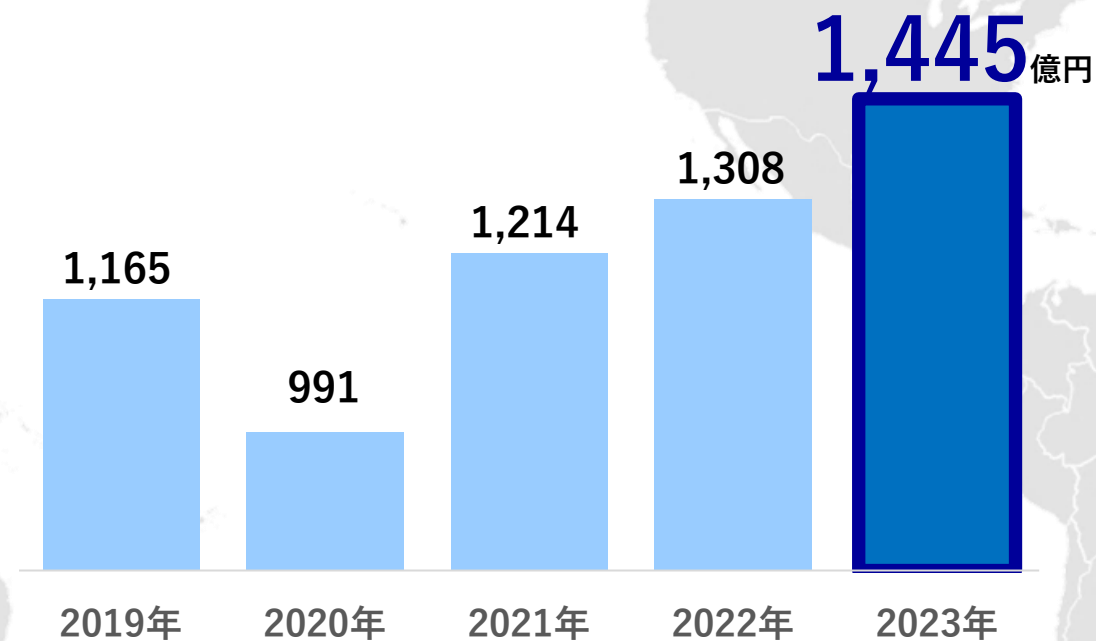
*営業利益から非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

グローバルポートフォリオの強さを発揮し、
過去最高の売上収益、営業利益を達成

売上収益



既存事業ベース 営業利益



中期経営計画（2021-2023）振り返り

“コロナ”、“未曾有のコスト増”と外部環境の影響を大きく受ける中、
過去最高の売上・営業利益を達成

中期経営計画(2021-2023)

	目標	結果
売上収益	● 売上収益 : 平均年率 1桁台半ばの成長*	+ 6%
利益/利益率	● 営業利益 : 平均年率 10%以上の成長*	+ 8%
	● 営業利益率 : 2023年 10%以上	9%
成長投資	● 成長投資（M&A含む）に重点 -最大ネットD/Eレシオ1倍 が投資上限目安（約7,000億円） -足元では2,000-3,000億円規模を投資枠として設定	オーガニック 成長に注力

* 2020年を起点、為替中立

全セグメントでコアブランド集中活動、コストマネジメント徹底し、 厳しい環境の中で事業の力強さを示した

日本

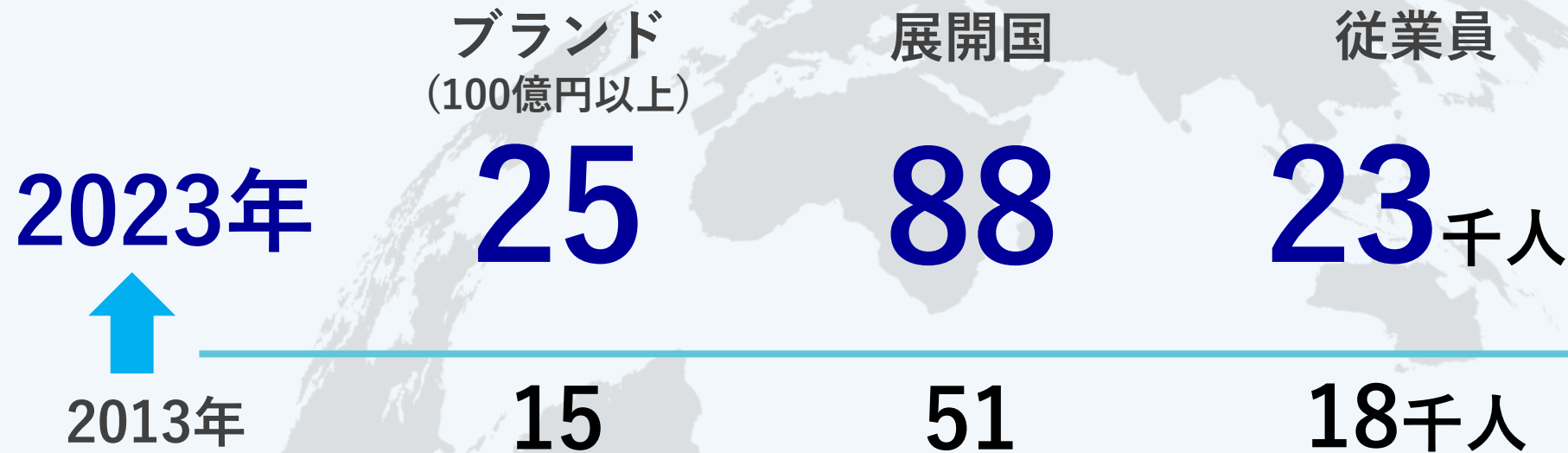
- コアブランド集中活動により過去最高のシェア獲得
- 価格改定を含めた売上収益最大化によるコスト増の吸収
- 自販機構造改革継続による収益力の強化

海外

- コアブランドイノベーション、グローバルブランド育成
- RGM活動推進によりコスト増を吸収
- 事業ポートフォリオ見直しによるコア事業への集中
(オセアニアフレッシュコーヒー、ナイジェリア、インドネシア飲料事業)

グローバルに拡大を続ける経営基盤

過去10年で、グローバルな事業基盤を拡大、
更なる事業成長を目指し取り組んで行く



新中期経営計画

真のグローバル飲料企業として、質の高い成長を目指す

オーガニック成長

売上収益成長率	営業利益成長率	営業利益率	フリーキャッシュフロー ^(*2)
平均年率 1桁台半ば ^(*1)	平均年率 1桁台後半 ^(*1)	2026年迄に 10%超	2026年に 1,400億円強

成長投資

3,000億円～6,000億円

M&A / 戦略的な設備投資(サステナビリティ投資含む) / 戦略ブランドグローバル展開

配当政策

2024年度以降、目標配当性向**40%以上**^(*3)

(*1) 2023年を起点、為替中立

(*3) 親会社の所有者に帰属する当期利益に対する連結配当性向の目安

(*2) フリーキャッシュフロー=営業キャッシュフロー - 投資キャッシュフロー

新中期経営計画の達成に向けて、
4つの戦略テーマを掲げ、取り組んで行く



ブランド戦略



構造改革







DIVERSITY, EQUITY
& INCLUSION



サステナビリティ

戦略テーマ① ブランド戦略

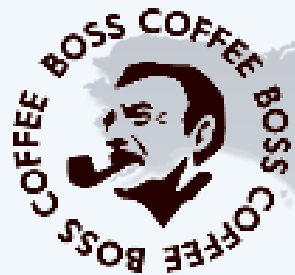
コアブランドイノベーション加速により、
展開エリアで市場を上回る成長を遂げる

	日本	APAC	欧州	米州
				
2023-2026 売上成長 想定 (*)	+2%	+9%	+5%	+5%
2023-2026 市場成長 推定 (*)	+0~1%	+5~6%	+2~3%	+3~4%

* 2023-2026年 CAGR、市場データより当社推定

戦略テーマ① ブランド戦略

戦略カテゴリー（コーヒー、Tea、エネルギー）を選定



コーヒー

Tea

エネルギー

日本

タイ

オセアニア

ベトナム



ベトナム

タイ



オセアニア 英国・APAC



将来の成長に向けた事業構造改革の加速

収益力強化

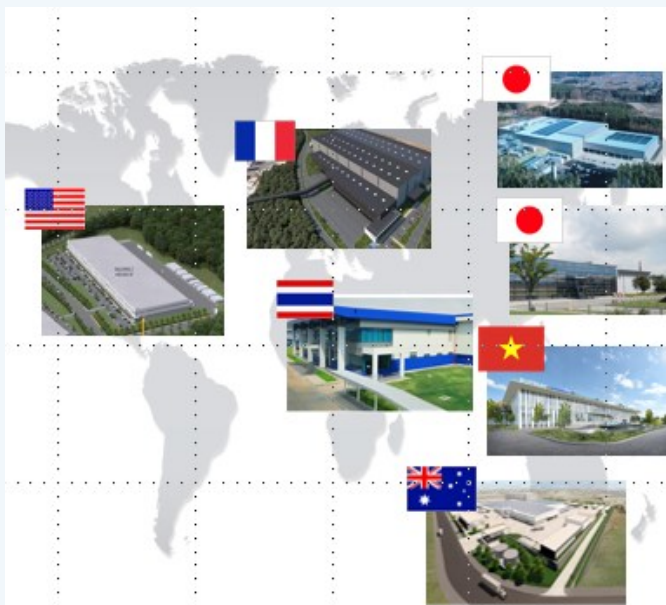
日本：自販機事業 構造改革
高収益製品 強化



海外：システム統合による
グローバル事業基盤の構築

SC基盤強化

中長期の成長を見据えた
積極的な投資



事業ポートフォリオ拡大

新カテゴリーへの挑戦



持続的成長に不可欠なDEIをグローバルに加速

目標

2030年 女性管理職比率目標: 30%

取り組み

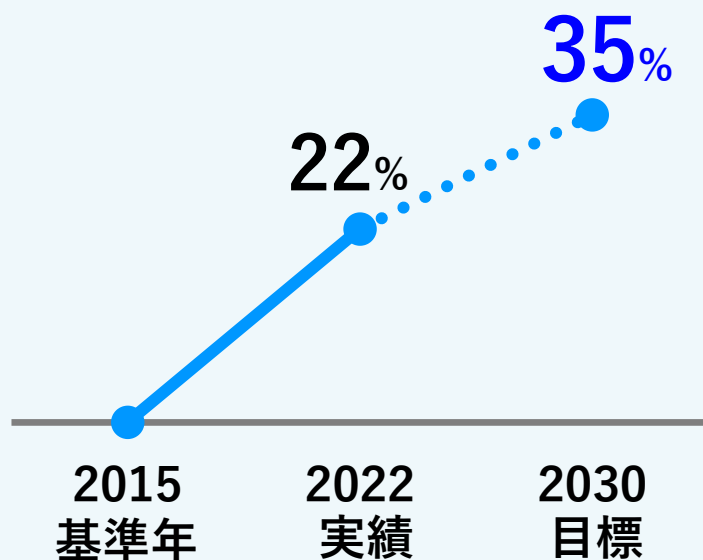
- DEI 推進協議会を創設 (2023年)
- 女性の登用・活躍推進
- LGBTQ+に関する活動の展開
- 障がい者の雇用、活躍の促進
- 多様な働き方支援



2030年目標の実現に向けて、活動を本格化

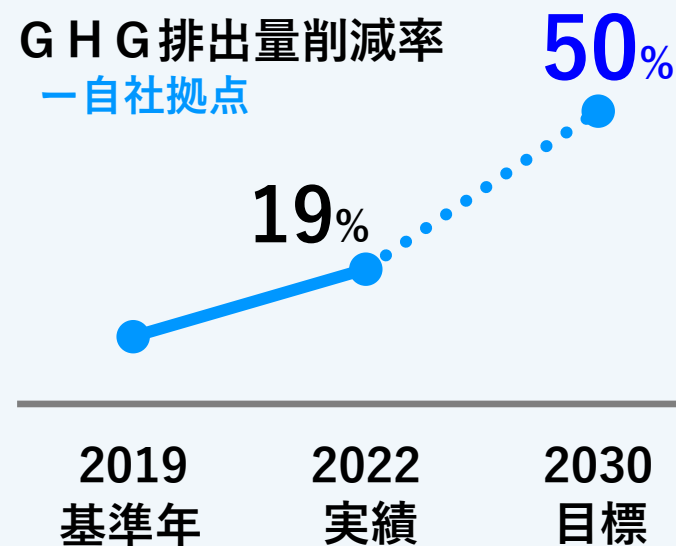
水

自社工場の水使用量の
原単位をグローバルで
35%削減^{※1}



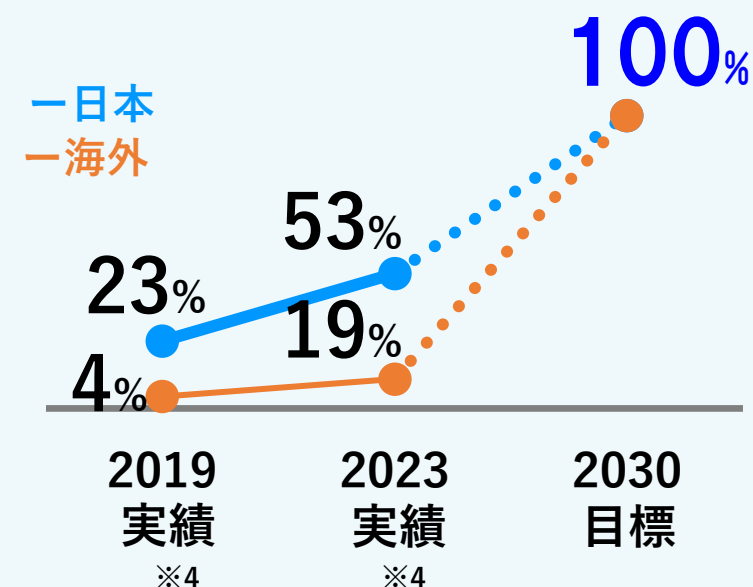
温室効果ガス

自社拠点でのGHG排出量を
50%削減^{※2}



プラスチック

グローバルで使用する全ての
ペットボトルを**100%**
サステナブルボトル^{※3}へ



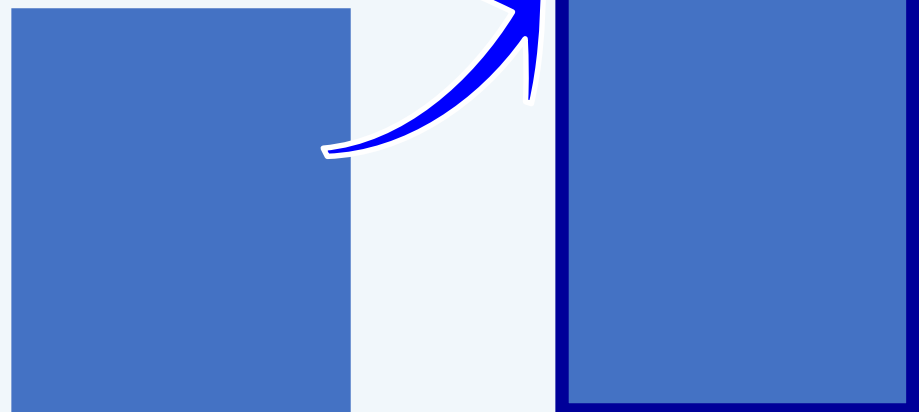
※1 サントリーグループ目標 (SBF目標は20%削減) 2015年原単位比
 ※2 サントリーグループ/SBF共通目標2019年の排出量を基準とする
 ※3 リサイクル素材あるいは植物由来素材100%使用ペットボトル
 ※4 サステナブル素材 (リサイクル素材あるいは植物由来素材) の使用比率 (重量ベース)

オーガニック成長の加速に向けて、 戦略的な設備投資（サステナビリティ投資含む）を強化

設備投資計画
(通常投資 + 戦略投資)

1.5倍
3,000億円

2,000億円



2021-2023年

2024-2026年

欧州



フランス：サプライチェーン再構築

米国



新ライン・倉庫増設

日本



信濃の森/高砂：ライン増設

APAC



ベトナム/タイ：生産能力増強

オーストラリア：生産能力増強
新カテゴリー（RTD）新設

利益成長による、継続的な株主還元の拡充を目指す

2023年度 実績

2024年度 予想

目標
配当性向

30%

40%

配当
総額

247億円

340億円

配当金

80円／株

110円／株

真のグローバル飲料企業となり、質の高い成長を目指すため、
新たな企業理念を策定

わたしたちの目的
Our Purpose

人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、
「人間の生命の輝き」をめざす

わたしたちの価値観
Our Value

Growing for Good / やってみなはれ / 利益三分主義

わたしたちのDNA
Who We Are

Always Together with Seikatsusha

生活者の喜怒哀楽に寄り添い、
潤い豊かな人生を提供します

多様な人材を要した強固なマネジメント体制*

取締役



代表取締役社長
(CEO)
小野 真紀子



取締役
(SBF COO)
Shekhar Mundlay



取締役
(Japan CEO)
内貴 八郎



取締役
(International CEO)
Peter Harding

リージョンCEO



APAC
三野 隆之



Europe
Justine O'Toole



取締役
宮森 洋



取締役
(常勤監査等委員)
神田 秀樹



社外取締役
中村 真紀



社外取締役
(監査等委員)
三村 まり子



社外取締役
(監査等委員)
増山 美佳



Americas
Derek Hill

* 2024年3月下旬開催予定の定時株主総会での承認を経て、その後に開催される取締役会・監査等委員会で正式決定される予定です。

* Europeは代理

2024年度 業績予想

2024年度 業績予想(IFRS)

	2024年 予想 (億円)	対前年			
		為替込		為替中立	
		増減(億円)	増減率	増減(億円)	増減率
売上収益	16,700	+783	+4.9%	+518	+3.2%
営業利益	1,490	+73	+5.1%	+36	+2.5%
非経常項目	△50	△4		△6	
既存事業ベース* 営業利益	1,540	+77	+5.3%	+43	+2.9%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	845	+18	+2.1%	+0	+0.0%

*営業利益から非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

決算補足説明

常務執行役員 大塚徳明

2023年度 振り返り

2023年度実績 (IFRS/セグメント別) - 既存事業ベース

売上収益 (億円)	対前年				修正業績 予想との 差異 (為替込) (億円)	
	為替込		為替中立			
	増減(億円)	増減率	増減(億円)	増減率		
日本	7,081	+549	+8.4%	+549	+8.4%	+41
APAC	3,714	+223	+6.4%	+36	+1.0%	△76
欧州	3,393	+435	+14.7%	+171	+5.3%	△27
米州	1,729	+274	+18.8%	+174	+11.2%	△21
連結	15,917	+1,482	+10.3%	+931	+6.2%	△83
セグメント利益 (億円)						
日本	406	+72	+21.5%	+72	+21.5%	+6
APAC	443	△12	△2.6%	△32	△6.7%	+3
欧州	530	+77	+16.9%	+30	+5.9%	+10
米州	210	+28	+15.2%	+15	+7.8%	△5
調整額	△145	△27		△24		
連結	1,445	+137	+10.5%	+61	+4.4%	+25

既存事業ベース=売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値
2023年より、アフリカ事業をAPACから欧州へ移管、増減は前年(2022年)も組み替えたベースで算定

売上収益	増減率		セグメント利益	増減率	
	為替込	為替中立		為替込	為替中立
7,081 億円	+8.4%	-	406 億円	+21.5%	-

- 販売数量は、飲料市場 前年比 100%（推定）、当社 102%
コアブランド集中活動を継続し、年間販売数量は過去最高を達成。
全チャネルで市場シェアを拡大。ブランド別には、「サントリー天然水」、
「GREEN DA・KA・RA」が過去最高の販売数量達成。
- 売上収益は、販売数量増に加え、価格改定効果も寄与し、増収。
- セグメント利益は、増収及び、原材高・円安影響が想定内に収まったことにより、増益。



既存事業ベース = 売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

売上収益

3,714 億円

増減率

為替込

為替中立

+6.4%

+1.0%

セグメント
利益

443 億円

増減率

為替込

為替中立

△2.6%

△6.7%

売上収益

増減率

為替込

為替中立

飲料事業
(ベトナム)

1,434 億円

+7.2%

+2.2%

景況感悪化による需要減の影響を受ける中、「TEA+」「Sting」
含め、主要ブランドは販売数量が堅調に推移飲料事業
(タイ)

912

+19.7%

+11.3%

インフレ低下や観光客需要の回復により「PEPSI」ブランド、
「TEA+」の販売数量が伸長健康食品
(*)

351

△5.4%

△12.2%

需要減の影響を受ける中、「BRAND'S Essence
of Chicken」の活動を徹底し、トレンドは回復傾向飲料事業
(オセアニア)

678

+15.3%

+12.0%

エネルギーカテゴリ「V」への集中活動継続、
「BOSS」ブランドも2桁成長と好調維持

(*) 健康食品は、タイ及びインドシナ半島の実績

既存事業ベース=売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値



売上収益	増減率	
	為替込	為替中立
3,393 億円	+14.7%	+5.3%

セグメント利益	増減率	
	為替込	為替中立
530 億円	+16.9%	+5.9%

	売上収益	増減率	
		為替込	為替中立
フランス	1,265 億円	+13.6%	+3.1%
英国 (*1)	976	+14.3%	+5.8%
スペイン (*2)	652	+14.5%	+4.0%

「Oasis」、「Schweppes」、「Orangina」の活動徹底。
「Oasis」は、過去最高の販売数量達成。

「Lucozade」は、過去最高の販売数量達成。

不安定な天候の影響を受ける中、
「Schweppes」の活動強化が寄与。



(*1) 英国、アイルランド (*2) スペイン、ポルトガル

既存事業ベース=売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

売上収益	増減率		セグメント利益	増減率	
	為替込	為替中立		為替込	為替中立
1,729 億円	+18.8%	+11.2%	210 億円	+15.2%	+7.8%

- 販売数量は、炭酸・非炭酸カテゴリー活動強化、Gatoradeの販路拡大が寄与し、堅調に推移
- 売上収益は、価格改定を含めたRGM^(*)活動が寄与し、増収
- セグメント利益は、原材料価格、物流費及び人件費増の影響を受ける中、増収効果により、増益



(*) RGM = レベニューグロスマネジメント。プライスパック、ミックスマネジメント、等
 既存事業ベース = 売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

セグメント別

1-3月

4-6月

7-9月

10-12月

(為替中立)

日本	9%	6%	11%	8%
APAC	6%	0%	△0%	△1%
欧州	20%	2%	1%	4%
米州	12%	18%	16%	3%
売上収益計	10%	5%	7%	4%

APAC

1-3月

4-6月

7-9月

10-12月

(為替中立)

飲料事業 (ベトナム)	23%	1%	△6%	△5%
飲料事業 (タイ)	9%	14%	12%	11%
健康食品	△18%	△20%	△2%	△9%
飲料事業 (オセアニア)	17%	8%	18%	7%

既存事業ベース=売上収益からは譲渡事業の売上収益を、
セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値
2023年より、アフリカ事業をAPACから欧州へ移管、増減は前年(2022年)も組み替えたベースで算定

2024年度 業績予想

2024年度 業績予想 (IFRS/セグメント別) - 既存事業ベース

売上収益(億円)		対前年			
		為替込		為替中立	
		増減(億円)	増減率	増減(億円)	増減率
日本	7,140	+59	+0.8%	+59	+0.8%
APAC	3,915	+320	+8.9%	+247	+6.7%
欧州	3,755	+362	+10.7%	+225	+6.4%
米州	1,890	+161	+9.3%	+108	+6.1%
連結	16,700	+902	+5.7%	+639	+4.0%
セグメント利益(億円)					
日本	410	+4	+0.9%	+4	+0.9%
APAC	490	+29	+6.2%	+21	+4.5%
欧州	595	+65	+12.3%	+43	+7.8%
米州	238	+28	+13.3%	+22	+10.2%
調整額	△193	△48		△47	
連結	1,540	+77	+5.3%	+43	+2.9%

既存事業ベース = 売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

売上収益	増減率		セグメント利益	増減率	
	為替込	為替中立		為替込	為替中立
7,140 億円	+0.8%	-	410 億円	+0.9%	-

- 販売数量は、飲料市場 前年比98%、当社 前年比99%を想定
コアブランド（「天然水」、「BOSS」、「伊右衛門」、「GREEN DA・KA・RA」、健康茶）集中活動を徹底
- 売上収益は、23年の価格改定効果やチャネル/商品構成の改善により増収を目指す（前年比101%）
- 原材料価格・円安影響を更に受ける想定の下、増収、サプライチェーンなどのコスト削減活動継続により、利益への影響を低減



参考：販売数量（実箱換算）：2024年 予想 飲料市場 前年比 98%（当社推定）、当社 99%

既存事業ベース = 売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

収益力を伴う事業成長により、コロナ前利益水準を目指す

コアブランド イノベーション

- ・ブランドポートフォリオのさらなる拡大（天然水、BOSS）
- ・緑茶カテゴリーの成長トレンド回帰（伊右衛門）
- ・高収益カテゴリーおよび新領域への果敢な挑戦（特茶）

自販機事業 構造改革

- ・更なる組織再編による、法人営業強化、オペレーション効率化、小売店としての魅力度向上継続

サプライチェーン 構造革新

- ・事業一貫での全体最適なサプライチェーン体制の更なる強靱化
- ・エリア需給の推進による、物流問題対応、安定供給の促進

RGM活動

- ・経済情勢、消費動向を見極めたRGM活動

売上収益

3,915 億円

増減率

為替込

為替中立

+8.9%

+6.7%

セグメント
利益

490 億円

増減率

為替込

為替中立

+6.2%

+4.5%

- フルバリューチェーンの総合力を発揮、コアブランドの更なる成長を目指す
- 売上収益の伸長及び生産設備の増強による収益力の強化
- 「TEA+」、「Sting」、「BRAND'S」のマーケティング強化
エナジードリンク「V」に注力
オーストラリア新工場の稼働によりサプライチェーンの確立
RTD販売開始の準備にも着手

RGM: (レベニュー グロス マネジメント) プライスパック、ミックスマネジメント、等

RtM: (ルートトゥーマーケット) 営業・流通戦略

既存事業ベース=売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値



ベトナム：コアブランド強化による成長軌道への早期回復
健康食品：ブランド立て直しによるコロナ前水準への回帰

ベトナム

■現状と課題

- ・ 経済成長は足元で緩やかに回復
- ・ 厳しい競争環境が継続

■2024年の取り組み

- ・ コアブランドイノベーション
- ・ 北部エリアへの投資強化
- ・ サプライチェーン強化

■2024年 目標

APACを牽引する売上成長



健康食品

■現状と課題

- ・ 主力タイでは、23年末に底打ち
- ・ Bird's Nestは、インバウンド需要回復
- ・ 近隣諸国への輸出停滞の影響

■2024年の取り組み

BRAND's Essence of Chicken

- ベネフィット訴求強化
- プロモーション拡充

■2024年 目標

コロナ前水準の売上回帰



売上収益	増減率		セグメント利益	増減率	
	為替込	為替中立		為替込	為替中立
3,755 億円	+10.7%	+6.4%	595 億円	+12.3%	+7.8%

- コアブランド（「Oasis」、「Schweppes」、「Lucozade」）イノベーション継続およびマケ集中投資。
- 戦略カテゴリー（エナジーなど）への取り組みも強化し、販売数量増による売上収益増を目指す（英国：エナジーブランド「CELSIUS」販売開始）
- 生産・調達部門も含め、継続的なコスト改善活動により収益性強化に取り組む



RGM: (レベニュー グロース マネジメント) プライスパック、ミックスマネジメント、等

既存事業ベース = 売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

売上収益	増減率		セグメント利益	増減率	
	為替込	為替中立		為替込	為替中立
1,890 億円	+9.3%	+6.1%	238 億円	+13.3%	+10.2%

- 炭酸カテゴリー・非炭酸カテゴリーの更なる拡大に取り組む
- RGM活動継続により収益力の強化を目指す



RGM: (レベニュー グロース マネジメント) プライスパック、ミックスマネジメント、等
 既存事業ベース=売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

SUNTORY

SUNTORY BEVERAGE & FOOD

(億円)

2023年
実績

内容

営業利益

1,417

非経常項目

△28

(APAC) △13 (日本) △2
(欧州) △13

既存事業ベース
営業利益

1,445

2023年度 実績 (IFRS/セグメント別)

	売上収益 (億円)	対前年				修正業績 予想との 差異 (為替込)
		為替込		為替中立		
		増減(億円)	増減率	増減(億円)	増減率	
日本	7,081	+549	+8.4%	+549	+8.4%	41
APAC	3,714	+188	+5.3%	+0	+0.0%	△76
欧州	3,393	+402	+13.4%	+135	+4.1%	△27
米州	1,729	+274	+18.8%	+174	+11.2%	△21
連結	15,917	+1,413	+9.7%	+858	+5.7%	△83
セグメント利益 (億円)						
日本	405	+70	+21.0%	+70	+21.0%	+5
APAC	431	△147	△25.4%	△165	△27.7%	△4
欧州	517	+96	+22.8%	+50	+10.8%	+12
米州	210	+28	+15.2%	+15	+7.8%	△5
調整額	△145	△27		△24		+10
連結	1,417	+20	+1.5%	△53	△3.6%	+17

2023年度 第4四半期 (10-12月) 実績(IFRS)

	2022年 10-12月実績 (億円)	2023年 10-12月実績 (億円)	対前年			
			為替込		為替中立	
			増減(億円)	増減率	増減(億円)	増減率
売上収益	3,690	3,983	+293	+7.9%	+156	+4.1%
営業利益	247	250	+2	+0.9%	△12	△4.7%
非経常項目	△17	△17	+0		+1	
既存事業ベース* 営業利益	264	266	+2	+0.9%	△13	△4.6%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	143	156	+13	+8.9%	+4	+2.6%

*営業利益から非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

2023年四半期別実績 (IFRS/セグメント別) - 既存事業ベース

(億円)	第1四半期 (1-3月)				第2四半期 (4-6月)				第3四半期 (7-9月)				第4四半期 (10-12月)							
	対前年								対前年											
	為替込				為替中立				為替込				為替中立							
	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率				
	売上収益																			
日本	1,458	118	8.8%	118	8.8%	1,824	105	6.1%	105	6.1%	2,105	202	10.6%	202	10.6%	1,694	125	7.9%	125	7.9%
APAC	899	128	16.6%	50	5.9%	928	33	3.7%	2	0.2%	910	33	3.8%	△2	△0.2%	977	29	3.0%	△14	△1.4%
欧州	686	146	26.9%	115	20.1%	959	80	9.2%	15	1.6%	964	107	12.5%	9	0.9%	784	102	15.0%	33	4.4%
米州	329	70	27.2%	35	11.7%	409	83	25.6%	63	18.2%	463	81	21.4%	63	15.7%	528	39	8.0%	14	2.7%
連結	3,372	462	15.9%	317	10.4%	4,119	302	7.9%	185	4.7%	4,443	424	10.6%	272	6.5%	3,983	294	8.0%	157	4.1%
	セグメント利益																			
日本	36	10	39.0%	10	39.0%	135	19	16.7%	19	16.7%	202	57	39.7%	57	39.7%	34	△15	△30.5%	△15	△30.5%
APAC	120	6	5.3%	△6	△4.6%	107	△26	△19.3%	△31	△22.6%	97	3	3.5%	△0	△0.5%	120	4	3.6%	6	4.8%
欧州	107	40	59.1%	37	52.5%	158	△6	△3.9%	△19	△10.6%	163	16	10.7%	△1	△0.8%	102	28	37.0%	13	14.4%
米州	37	7	22.0%	3	7.2%	57	14	31.8%	11	23.7%	57	5	9.6%	2	4.2%	58	2	4.1%	△0	△0.7%
調整額	△32	△5		△4		△32	△2		△2		△34	△3		△2		△48	△17		△16	
連結	268	58	27.6%	40	17.3%	424	△2	△0.4%	△22	△4.8%	486	78	19.2%	56	12.9%	266	2	0.9%	△13	△4.6%

既存事業ベース=売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値
2023年より、アフリカ事業をAPACから欧州へ移管、増減は前年(2022年)も組み替えたベースで算定

2023年四半期別実績 (IFRS/セグメント別)

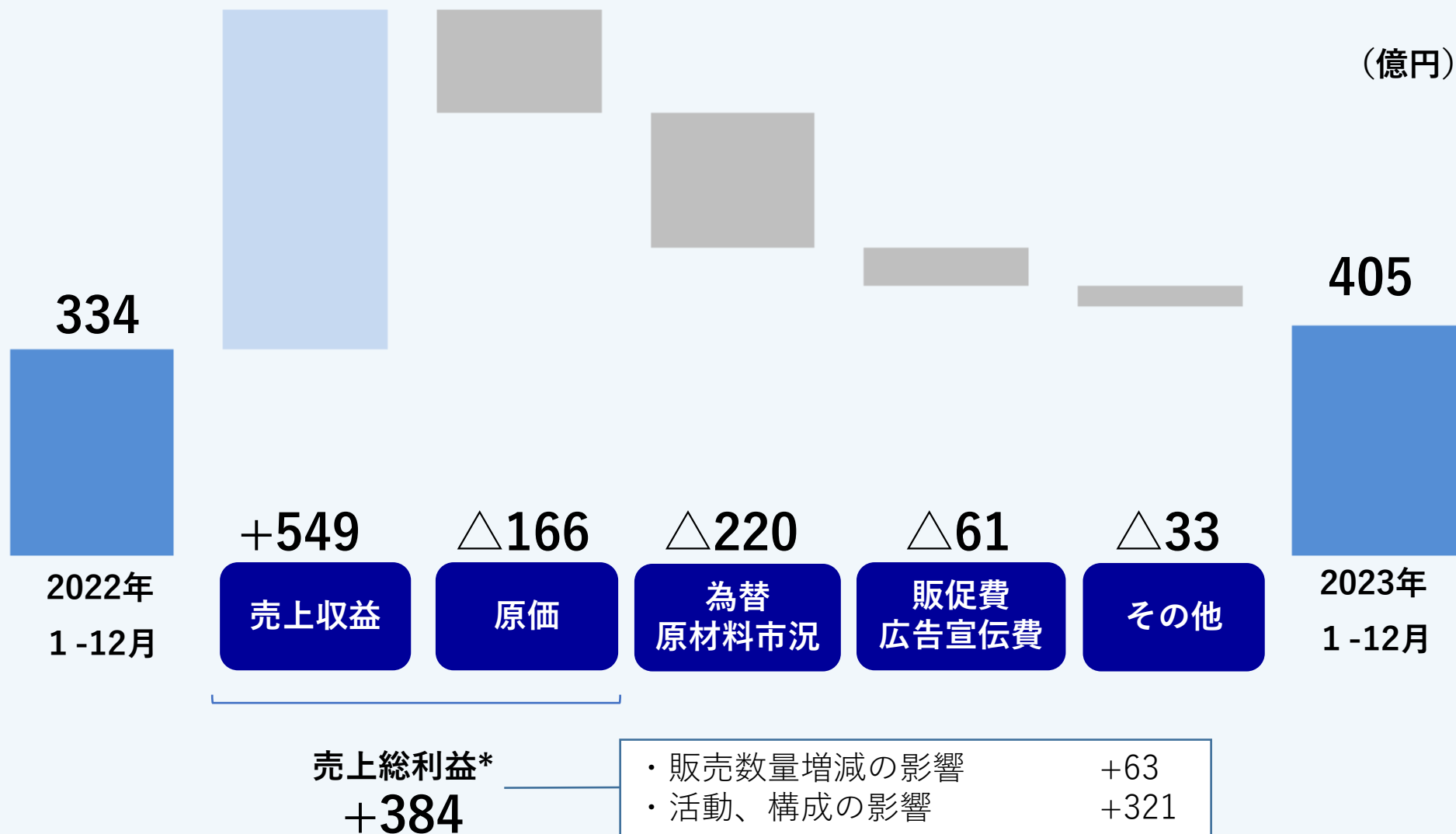
(億円)	第1四半期 (1-3月)				第2四半期 (4-6月)				第3四半期 (7-9月)				第4四半期 (10-12月)							
	対前年								対前年											
	為替込				為替中立				為替込				為替中立							
	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率				
	売上収益																			
日本	1,458	118	8.8%	118	8.8%	1,824	105	6.1%	105	6.1%	2,105	202	10.6%	202	10.6%	1,694	125	7.9%	125	7.9%
APAC	899	95	11.9%	15	1.7%	928	32	3.5%	2	0.2%	910	33	3.7%	△3	△0.3%	977	29	3.0%	△14	△1.4%
欧州	686	128	23.0%	95	16.0%	959	70	7.8%	4	0.4%	964	102	11.9%	4	0.4%	784	101	14.8%	32	4.3%
米州	329	70	27.2%	35	11.7%	409	83	25.6%	63	18.2%	463	81	21.4%	63	15.7%	528	39	8.0%	14	2.7%
連結	3,372	412	13.9%	263	8.4%	4,119	289	7.6%	173	4.4%	4,443	419	10.4%	266	6.4%	3,983	293	7.9%	156	4.1%
	セグメント利益																			
日本	36	10	39.0%	10	39.0%	135	19	16.7%	19	16.7%	202	57	39.7%	57	39.7%	32	△16	△34.0%	△16	△34.0%
APAC	118	3	2.9%	△9	△6.8%	107	△183	△63.0%	△189	△63.7%	98	34	54.0%	32	47.5%	108	△1	△1.3%	0	0.2%
欧州	104	32	43.5%	28	36.7%	158	△10	△6.2%	△23	△12.7%	155	40	34.7%	25	18.9%	100	35	53.4%	20	25.8%
米州	37	7	22.0%	3	7.2%	57	14	31.8%	11	23.7%	57	5	9.6%	2	4.2%	58	2	4.1%	△0	△0.7%
調整額	△32	△4		△4		△32	△2		△2		△34	△3		△2		△48	△17		△16	
連結	264	47	22.0%	28	12.0%	425	△163	△27.7%	△183	△30.1%	479	134	38.6%	114	31.1%	250	2	0.9%	△12	△4.7%

2023年より、アフリカ事業をAPACから欧州へ移管、増減は前年(2022年)も組み替えたベースで算定

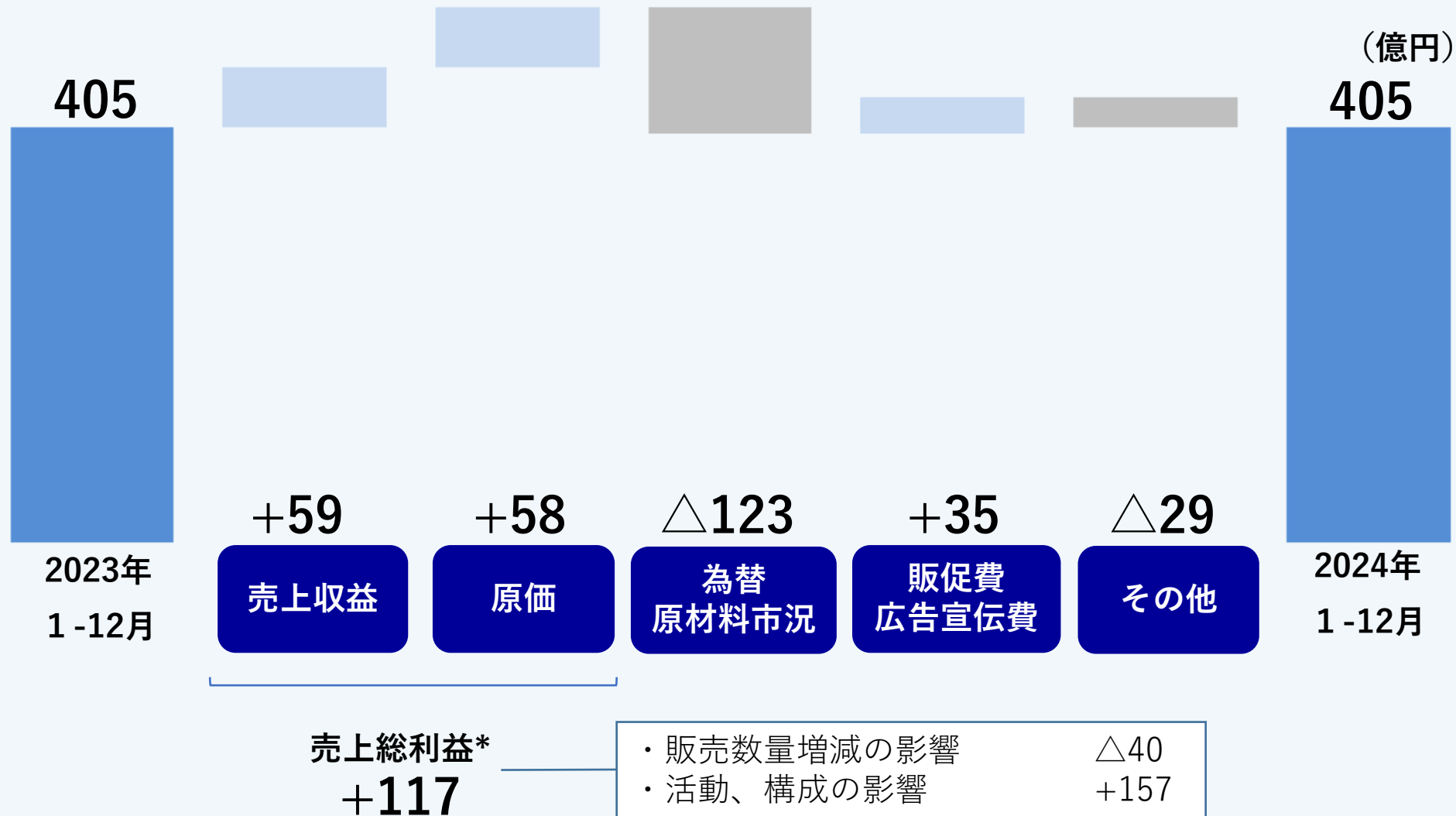
2024年度 業績予想 (IFRS/セグメント別)

売上収益 (億円)		対前年			
		為替込		為替中立	
		増減(億円)	増減率	増減(億円)	増減率
日本	7,140	+59	+0.8%	+59	+0.8%
APAC	3,915	+201	+5.4%	+126	+3.3%
欧州	3,755	+362	+10.7%	+225	+6.4%
米州	1,890	+161	+9.3%	+108	+6.1%
連結	16,700	+783	+4.9%	+518	+3.2%
セグメント利益 (億円)					
日本	405	+0	+0.1%	+0	+0.1%
APAC	455	+24	+5.6%	+16	+3.6%
欧州	585	+68	+13.1%	+45	+8.3%
米州	238	+28	+13.4%	+22	+10.2%
調整額	△193	△48		△47	
連結	1,490	+73	+5.1%	+36	+2.5%

日本 2023年度 実績 利益増減分析



*為替・原材料市況を除く売上総利益



*為替・原材料市況を除く売上総利益

日本

(単位：百万C/S)	2022年		2023年		2024年 通期予想	
	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減	予想	対前年 増減
サントリー天然水	129.8	8%	138.3	7%	139.5	1%
BOSS	104.3	△1%	102.2	△2%	101.5	△1%
伊右衛門	61.7	4%	57.4	△7%	55.5	△3%
GREEN DA・KA・RA	48.4	15%	50.4	4%	48.5	△4%
特定保健用食品 および 機能性表示食品 計	32.6	62%	39.7	22%	37.6	△5%
日本事業 販売数量 合計	444.7	6%	454.3	2%	448.5	△1%

*上記数字には(株)ジャパンビバレッジホールディングス等による
他社仕入分の販売数量は含まれていません。

欧州

(単位：百万L)	2022年		2023年	
	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減
オアシス (フランス)	326	15%	331	2%
シュウェップス (フランス)	198	14%	184	△7%
オレンジーナ (フランス)	187	11%	185	△2%
ルコゼード (英国、アイルランド)	421	6%	431	2%
ライビーナ (英国、アイルランド)	87	△4%	82	△5%
シュウェップス (スペイン、ポルトガル)	136	10%	137	0%

(円、期中平均)

	2022年 実績	2023年 実績	2024年 年間予想
米ドル	131.7	140.7	145.0
ユーロ	138.2	152.2	158.0
英ポンド	162.0	175.1	184.0
シンガポールドル	95.4	104.8	108.0
タイバーツ	3.8	4.0	4.2
ベトナムドン	0.0056	0.0059	0.0060
ニュージーランドドル	83.3	86.3	94.0
豪ドル	91.2	93.4	87.0

本資料取扱上の注意点

本資料は情報提供のために作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。

本資料には、当社又は当社グループの今後の業績等に関連して将来に関する記述を含んでおります。将来に関する記述は、現在入手可能な情報を踏まえて、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等は、これらの種々の要素によって変動するため、本書作成時点と異なる可能性もあります。

当社は、本資料の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありませんので、ご了承ください。